

平成 11 年 2 月 22 日

関係者各位

**平成 10 年度補正予算追加のお願いについて
麗澤瑞浪中学・高等学校**

廣池学園 総合企画室

要旨

昨年末、平成 10 年度郵政・文部補助事業である「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」に対し、岐阜県より麗澤瑞浪中学・高等学校が参加指定を受け麗澤大学の助力を得、総合企画室ともども準備を進めて参りました。

この事業に参加することは、麗澤瑞浪中学・高等学校はもとより学校法人廣池学園にとっても大いに意義のある事と考えられますので、ぜひとも実現いたしたきものと考えます。しかしながら、下記の事情により新たな費用の発生が判明いたしました。つきましては以下の経緯をご理解いただき、麗澤瑞浪中学・高等学校の平成 10 年度補正予算に事業参加のために必要な費用の追加をしていただきたくお願いいたします。

麗澤瑞浪中学・高等学校追加要望予算額

プライベートネットワーク空間(VPN) 接続用装置

VPNware VSU-10 2 セット他一式 2,992,500 円 (消費税含む)

先進的教育用ネットワークモデル地域事業参加に向けて

- 郵政・文部補助事業「学校インターネット高度化計画」 -

これまでの経緯

募集・応募

昨年 12 月初旬、政府の緊急経済対策（第三次補正予算）の中で、平成 10 年度、郵政・文部補助事業として「学校インターネット高度化計画」が打ち出され、各都道府県宛募集要項が配付されました。この事業は 300 億円程度の予算規模で、全国 30 地域に拠点を置き、その下位にそれぞれ 35 校程度の学校を接続するもので「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」の名称で取り組まれております。

12 月中旬、上記事業参加の含みで岐阜県庁より、井上校長宛てに「麗澤瑞浪中学・高等学校は設備も充実しているし、応募の中の指定校に推薦したいが協力して欲しい。」との要請があり快諾いたしました。この時点では「300 億円規模の事業で、各学校をインターネット接続する。」ということだけで、参加校における費用負担等具体的なことは未定でした。

採択

12月25日、岐阜県地域を含む30ヶ所の実施地域が採択されたことが郵政省のホームページで公開されました。(下記 URL 参照) 岐阜県地域からは、小学校11、中学校13、公立高校7、私立高校2、聾学校1の計34校が、衛星アクセス方式で接続する旨発表されましたが、衛星を使ったインターネット接続はどこも経験が無く、この時点では岐阜の担当者も含めて関係者一同技術的にどのような接続方式なのか皆目見当がつかない状態でした。

参考：<http://www.kiu.ad.jp/inside/close/hojyokin/yusei/981225j602.html>

説明会

1月18日、郵政省で全国30地域の担当者を集めて今回のプロジェクト説明会が実施されました。岐阜県地域からは、岐阜県教育委員会ほか各地の教育委員会から5名の先生方が参加されております。説明会では事業の概要や事業計画、スケジュールなどが報告され、技術的な面は報告も質問もなされませんでした。説明会の2日後、1月20日に説明会資料が郷教諭あてにFAXで届きました。

接続方式

2月8日、郵政省の委託を請け負っている通信・放送機構(郵政省認可法人)より、岐阜県地域担当者あてにアンケートが届き、その担当者より郷教諭あてに「麗澤瑞浪中学・高等学校はダイヤルアップ接続での参加になります。」との連絡が来ました。

麗澤各校の関係者一同は、当初から「麗澤瑞浪中学・高等学校は麗澤大学経由でインターネット接続しており、通信費が発生しない学校なので採択された。」と理解しておりましたが、思惑がはずれた結果となりました。ダイヤルアップ接続を採用するということは、新たに麗澤瑞浪中学・高校が瑞浪市周辺のプロバイダーとインターネット接続契約しなければならないこと、また、接続時間によって課金されるシステムのため新たに月額10万円前後の通信費が発生し、この事業が終了するまでの3年間払い続けることとなります。

参加を取り下げの学校も

急遽、関係各所から入札応募仕様書などの資料を取りそろえ調査・研究したところ、通信・放送機構の計画されている技術的な面がだんだんと明らかになってきました。全国30地域、1,050校を一つのプライベートなネットワーク空間で接続するという計画です。これは、既に専用線を利用してインターネット接続している学校が参加するには、専用線接続を中止しダイヤルアップ接続にせざるをえません。

2月10日、この方式が明らかになった時点で、岐阜県の輪之内町立輪之内中学校は「長年かけて町内のネットワークを整備してきたので、今更中学校だけを別のネットワークに接続する方式に変更したくない。」という理由で参加を取り下げました。群馬県内でも同じ理由で取り下げ問題が発生し、ネットワーク関係者の間で話題になっており、全国で相当混乱していると思われます。

麗澤瑞浪中学・高等学校はどうする

麗澤瑞浪中学・高等学校も県の要請により参加表明したのですが、「ダイアルアップ接続にして月額 10 万円前後の通信費を事業が終了するまでの 3 年間払い続けるか、或いは、せっかくの県からの要請をお断りするか」、井上校長や直接担当されている郷教諭は決断せざるを得ない状況となりました。

麗澤方式で参加できる

そこで、ネットワーク分野の専門家である麗澤大学大塚助教授、牧野講師の両氏に解決策を検討していただいた結果、現在の専用線を利用して、新たに通信費が発生しない「麗澤方式」を提案していただきました。この方式であれば事業主体者側の要望に添った形で参加可能となります。（別紙、図参照）

今回の事業には、千葉県から柏市・川口市が協同で採択され、麗澤大学情報システムセンター内に地域センターを設置し、柏市と柏インターネットユニオンとの協同で参加する計画が進められております。このような経緯から、麗澤大学内部においても今回の事業で実施される教育用ネットワークの研究が進められておりました。柏地域はケーブルテレビを利用した接続方式となります。（別紙、柏地区図参照）

麗澤方式とは

この方式は、現在の専用線(128Kbps:月額約¥180,000)をそのまま利用し、麗澤大学から中央センター(東京都三鷹市)まで接続する方式で、新たに通信費が発生しないばかりか現状 128Kbps フルに利用されているバンド幅が相当量緩和される方式です。言い換えれば、今までは瑞浪の教室から麗澤大学を経由してインターネットに出て行き、外部から写真などの大きなデータを取り込んでいましたが、取り込みだけは衛星を利用することにより専用線のバンド幅が空いてくることになり、事業が終了するまでの間は回線スピードを上げる必要がないというメリットもあります。

麗澤方式にかかる備品

上記「麗澤方式案」を、郵政省、通信・放送機構それぞれに確認したところ「通信費、機器設備、プロバイダー費用等、全ての費用を麗澤瑞浪中学・高等学校が負担するのであれば認める。」との回答を得ました。現状では瑞浪からインターネット接続しており新規に費用が発生する要素は無いのですが、今回の事業「プライベートなネットワーク空間(VPN:Virtual Private Network)に接続する」事を実現するためには、データを暗号化・解読する装置を新規購入し瑞浪のマシーンルームと中央センターに設置する必要があります。

事業終了後の転用計画

今回の事業で新規に購入する装置は、事業終了後、中央センター(東京都三鷹市)に設置してあるものを麗澤大学に移動させることによって「瑞浪キャンパスと柏キャンパスとを一つのプライベート・ネットワーク空間にする」ということが実現できます。

現在は瑞浪と柏との間を専用線で結んでいますが、瑞浪からの接続先を東濃地区のプロバイダーに変更することにより、現在の通信費でもっと高速の回線に変更可能となります。

この事業に参加することにより次のようなメリット・デメリットが考えられます。

事業に参加するメリット

1. 早急に瑞浪瑞浪中学・高等学校 - 麗澤大学間の専用回線速度を上げなくても良い。

現状、専用回線速度 128Kbps のバンド幅をフルに利用しており、現場の先生方から速度をあげて欲しいとの要望があるが、利用形態の大幅な変更があるまでは急いで速度を上げる必要はない。

2. 岐阜県（県教委）の瑞浪瑞浪中学・高等学校に対する評価が上がる。

岐阜県から「麗澤瑞浪中学・高等学校は設備も充実しているし、応募の中の指定校に推薦したいが協力して欲しい。」との要請があったわけで、参加協力することにより評価が高くなると考えられる。

3. 学校のPRになる。

今回の事業は、今までにない全国規模の「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」であるため、事業参加校はマスコミで取り上げられる可能性が非常に高い。また、「麗澤方式」は、衛星アクセス方式の中では他に類が無い（他は全てダイヤルアップ方式）ので特に話題性がある。

デメリット

1. 新たに費用が発生する。

今回の事業に参加するには「麗澤方式」を採用するしないにかかわらず費用が発生する。ダイヤルアップ方式を選択した場合、8万円/月額としても、3年間で約300万円は必要になる。「麗澤方式」による参加はVPN対応の装置を購入することになり、約300万円の出費になる。但し、後者は前述のごとく事業終了後の転用によってその費用を十分に生かせる道がある。

結論

上記の経緯および状況をふまえ、2月10日、麗澤瑞浪中学・高等学校、麗澤大学、廣池学園総合企画室それぞれで協議した結果、「取り下げによる岐阜県から見た印象が悪くなる事や、参加することによるメリット等を勘案した結果、参加する方が得策と考えられる。」という結論に達しました。

以上、これまでの事情を理解していただき、平成10年度、麗澤瑞浪中学・高等学校補正予算に「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」参加のために必要な費用の追加をしていただきたくお願いいたします。（見積：別添）